

健康くにとみ21 中間評価

平成31年 3月 国富町

健康くにとみ21 中間評価 目次

第1章 国富町の現状	1
第2章 課題別目標と中間評価	
1 中間評価	2
2 計画の見直し	3
3 課題別の現状と目標	5
(1) 生活習慣病	
(2) がん予防	
(3) 栄養・食生活	
(4) 身体活動・運動	
(5) 飲酒	
(6) たばこ	
(7) 休養・こころ	
(8) 歯科	
4 参考資料(健康くにとみ21 中間評価 一覧)	

第1章 国富町の現状

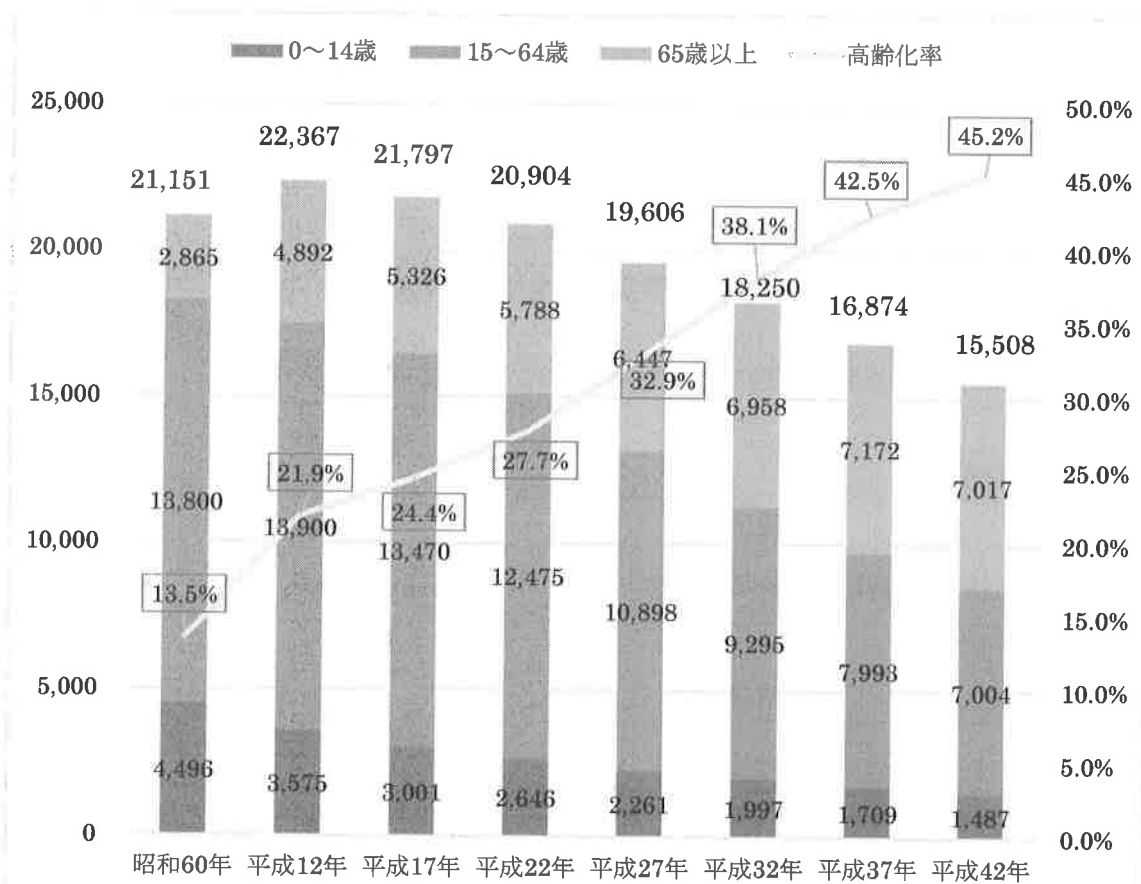
1 人口構成

- ・人口構成を国・県と比較すると、65歳以上の高齢化率は国や県よりも高くなっています。本町の人口は、平成22年には20,909人でしたが、平成27年までの5年間に1,303人減少し、65歳以上人口は664人増加しています。
- ・高齢化率は、平成22年には27.7%でしたが、平成27年には32.9%となりました。5年間で5.2ポイント高くなっており、国や県と比較しても高い比率となっています。
- ・年少人口(0～14歳)・生産年齢人口(15～64歳)ともに総人口に占める割合は減少傾向にあり、県や県と比較して低い割合となっています。

表1 国富町の人口を国と県と比較 ○ は国・県と比較し問題となるもの

	国		県		町	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～14歳	15,886,810	12.6%	149,608	13.7%	2,261	○11.5%
15～64歳	76,288,736	60.7%	622,544	56.8%	10,898	○55.6%
65歳以上	33,465,441	26.6%	322,975	29.5%	6,447	○32.9%
総人口	125,640,987		1,095,127		19,606	

図1 人口の推移と推計



資料：平成27年度までは国勢調査、平成32年度以降は国立社会保障人口問題研究所

第2章 課題別目標と中間評価

1 中間評価

平成26年に立てた本計画について、達成状況の評価を行いました。評価区分は、次のとおりです。 A 目標に達している項目 B 改善している項目

C 変化なし D 悪化している項目 E 評価困難

	A	B	C	D	E	合計	A+B 達成率
生活習慣病	4	1	0	9	0	14	35.7%
がん予防	0	3	0	7	0	10	30.0%
栄養・食生活	1	9	0	7	2	19	52.6%
身体活動・運動	0	7	1	6	0	14	50.0%
飲酒(アルコール)	1	0	1	2	0	4	25.0%
たばこ	1	2	0	4	0	7	42.8%
休養・こころ	0	5	0	4	0	9	44.4%
歯・口腔	0	3	0	1	2	6	50.0%
合計	7	30	2	40	4	83	

評価区分が A「目標に達した」と B「目標に達していないが改善傾向にある」を合わせ、全体の44.5%で一定の改善がみられました。しかし、D「悪化している項目」が48.1%ありました。

2 計画の見直し

中間評価結果の反映や他計画との整合性を測るため見直しを行いました。見直し項目とその理由は、次のとおりです。

削除項目 4、目標値を新たに設定する項目 8、追加項目 2

【1 生活習慣病】

	目標項目	変更・削除の理由
変更	特定保健指導受診者の増加	目標達成のため

【2 がん予防】

	目標項目	変更・削除の理由
変更	がん検診受診者の割合増加	がん対策推進計画の見直しに伴う変更
変更	がん検診精密受診者の割合増加	がん対策推進計画の見直しに伴う変更

【3 栄養・食生活】

	目標項目	変更・削除の理由
削除	野菜の摂取量が少ない人の割合減少(20～30代)	数値の把握が困難なため
削除	緑黄色野菜の摂取量が少ない人の割合減少(20～30代)	数値の把握が困難なため

【4 身体活動・運動】

	目標項目	変更・削除の理由
変更	テレビ・ビデオ・DVDの一日平均視聴時間減少	数値の把握が困難なため平均視聴時間から2時間以上の割合へ
変更	テレビ・ゲームの一日平均時間減少	数値の把握が困難なため平均視聴時間から2時間以上の割合へ
追加	テレビ・ビデオ・DVDの一日平均視聴時間が2時間以上の人の割合減少	新たに設定
追加	テレビ・ゲームの一日平均時間が2時間以上の人の割合減少	新たに設定

【5 飲酒(アルコール)】

	目標項目	変更・削除の理由
変更	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らす	目標達成のため

【6 たばこ】

	目標項目	変更・削除の理由
変更	たばこを吸う人の割合減少(75歳以上男性)	現状値に沿っていなかったため
変更	たばこを吸う人の割合減少(40～74歳男性)	目標達成のため

【7 休養・こころ】

変更なし

【8 歯・口腔】

	目標項目	変更・削除の理由
削除	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合増加	数値の把握が困難なため
削除	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合増加	数値の把握が困難なため

3 課題別の現状と目標

【1 生活習慣病】

基本目標

生活習慣病の発症と重症化を予防し、血管の老化を防ぎましょう。

現状

- ・特定健診受診率は上昇しているが、目標を達成していない。
- ・特定保健指導は目標達成したが、メタボリックシンドローム(該当者・予備軍)の割合が減少しておらず、増加している。BMI25以上の割合は減少しており、県平均より低いですが、腹囲が基準値以上の者の割合は増加している。
- ・肥満傾向にある子どもの割合が、小学4年生女子以外全て増加しており、さらに県平均(小学5年生男子7.78%、女子4.51%)よりも高い数値となっている。

目標達成に向けた取り組み

- ・健診受診率向上に向けた取り組みを行う。
- ・特定保健指導(メタボリックシンドローム予防)、生活習慣病重症化予防(脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病性腎症)に関する保健指導を行う。
- ・肥満傾向にある子どもとその保護者へ健康教室を実施するなど、各学校の取り組みを推進する。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
1-1	特定健診、特定保健指導受診者の増加	特定健診受診率	36.8%	39.5%	60.0%
		特定保健指導実施率	27.5%	69.9%	70.0%
1-2	メタボリックシンドローム(該当者・予備群)の割合減少(40～74 歳)	該当者男性	26.4%	29.3%	20.0%
		該当者女性	11.0%	11.3%	8.0%
		予備群男性	18.0%	18.9%	15.0%
		予備群女性	8.7%	9.9%	5.0%
1-3	BMI が 25 以上の人の割合減少	40～74 歳男性	34.7%	28.9%	30.0%
		40～74 歳女性	40.6%	22.7%	35.0%
1-4	腹囲が基準値以上の人の割合減少	40～74 歳男性	50.5%	52.8%	45.0%
		40～74 歳女性	24.1%	24.8%	20.0%
1-5	肥満傾向にある子どもの割合減少 ※調査を実施している学年が小学校 4 年生と中学校 1 年生であるため、対象者を変更する	小学校 4 年生男子	7.3%	14.5%	減少傾向へ
		小学校 4 年生女子	5.4%	5.1%	
		中学校 1 年生男子	6.8%	9.7%	
		中学校 1 年生女子	0.0%	5.8%	

【2 がん予防】

基本目標

がんによる死亡を防ぎましょう。

現状

- ・子宮頸がん、乳がんの受診率は前回よりも増加したが、その他の受診率は低下している。
- ・がん検診については目標値を達成していない。
- ・乳がん検診の精密検査受診率は上昇しているが、その他のがん検診精密受診者の割合は前回よりも低下している。

今後の取り組み

- ・がん予防の啓発とがん検診のPRを行う。
- ・がん検診を受診しやすいように環境を整える。
- ・精密検査の必要な方へ、複数回受診勧奨を行う。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
2-1	がん検診受診者の割合増加	胃がん	18.5%	8.2% (リスク含 16.1%)	50.0%
		大腸がん	20.5%	20.4%	50.0%
		肺がん(CT)	13.0%	11.9%	50.0%
		子宮がん	24.0%	27.7%	50.0%
		乳がん	19.6%	21.8%	50.0%
2-2	がん検診精密受診者の割合増加	胃がん	86.7%	82.4%	90.0%
		大腸がん	79.2%	76.4%	90.0%
		肺がん(CT)	83.3%	81.3%	90.0%
		子宮がん	78.7%	75.8%	90.0%
		乳がん	87.0%	93.2%	90.0%

【3 栄養・食生活】

基本目標

1日3食、バランスのとれた食生活を実現しましょう

現状

- ・朝食を食べている人の割合は、小学生と中学生、50歳代は増加したが、3歳児と40歳代は低下した。
- ・寝る前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある人の割合は、40歳代と50歳代ともに増加した。
- ・夕食後に間食(夜食)をとることが週に3回以上ある人の割合は、概ね減少したが、40代女性のみ増加した。
- ・野菜の摂取量が少ない人の割合は、県平均(74%)よりも少なく、前回よりも減少した。

今後の取り組み

- ・幼児健診で、3食食べることの大切さについて、リーフレットなどを用いて周知する。
- ・不規則な食事が体に与える影響の普及・啓発を行う。
- ・野菜摂取の必要性について、引き続き周知する。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
3-1	朝食を食べている人の割合増加	3歳児	98.4%	94.6%	100%に近づける
		小学生	88.9%	96.7%	100%に近づける
		中学生	88.7%	96.4%	100%に近づける
		40代男性	73.9%	57.8%	80.0%
		40代女性	92.6%	87.5%	98.0%
		50代男性	84.8%	88.0%	90.0%
		50代女性	93.8%	94.0%	98.0%
3-2	寝る前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある人の割合減少	40代男性	34.1%	32.5%	30.0%
		40代女性	22.1%	29.2%	17.0%
		50代男性	22.8%	23.9%	18.0%
		50代女性	8.4%	15.4%	5.0%
3-3	夕食後に間食(夜食)をとることが週に3回以上ある人の割合を減少	40代男性	18.2%	13.3%	13.0%
		40代女性	13.2%	19.4%	8.0%
		50代男性	8.2%	6.8%	5.0%
		50代女性	14.0%	13.7%	10.0%
3-4	野菜の摂取量が少ない人の割合減少 ※対象者を40～74歳から40歳以上へ変更	20～30代	削除	削除	削除
		40歳以上	平成28年度 男性65.9% 女性63.9%	男性55.9% 女性47.8%	男45% 女45%
3-5	緑黄色野菜の摂取量が少ない人の割合減少 ※対象者を40～74歳から40歳以上へ変更	20～30代	削除	削除	削除
		40歳以上	平成28年度 男性51.6% 女性48.5%	男性44.8% 女性38.2%	男45% 女45%

【4 身体活動・運動】

基本目標

日常生活の中でこまめに身体を動かし、健康づくりのための運動習慣の定着を図りましょう

現状

- ・小中学生について、テレビやビデオ、DVDの視聴時間が2時間以上の人の割合は減ったが、テレビゲーム(携帯電話のゲームを含む)の視聴時間が増加している。
- ・日常生活において歩行、又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合は、概ね増加しているが、40歳代で大きく低下している。
- ・日常生活において歩行、又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合は、70歳代以上で増加したが、60歳代より下の年齢では減少した。
- ・1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合は、概ね増加しているが、40歳代では減少している。

今後の取り組み

- ・子どもたちが積極的に身体を動かす機会を持てるように、各学校の取り組みを推進する。
- ・成人期の中でも、特に40歳代の運動習慣が少ないことから、運動と生活習慣病の関係に関する知識の普及啓発を行う。
- ・高齢者がいつまでも元気でいきいきと過ごせるために、地域における運動教室の推進を継続する。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
4-1	テレビやビデオ・DVD の視聴時間が 2 時間以上の人の割合減少 ※平均視聴時間から、2 時間以上の割合へ変更	小学校	61.2%	57.2%	55%
		中学校	46.1%	31.9%	30%
4-2	テレビ・ゲームの視聴時間が 2 時間以上の人の割合減少 ※平均視聴時間から、2 時間以上の割合へ変更	小学校	19.5%	24.3%	20%
		中学校	22.6%	23.9%	20%
4-3	日常生活において歩行、又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施している人の割合増加	40 歳代	45.5%	39.4%	70.0%
		50 歳代	64.5%	39.7%	70.0%
		60 歳代	57.5%	42.5%	70.0%
		70～74 歳	43.4%	52.2%	70.0%
		75 歳以上	41.6%	58.9%	70.0%
4-4	1 日 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施している人の割合増加	40 歳代	21.8%	20.6%	50.0%
		50 歳代	17.6%	26.5%	50.0%
		60 歳代	36.8%	40.0%	50.0%
		70～74 歳	52.7%	51.4%	80.0%
		75 歳以上	52.8%	54.9%	85.0%

※4-1 と 4-2 については目標項目の変更に伴い、策定時値を集計し直している。

4-3 と 4-4 については、策定時値の修正を行っている。

【5 飲酒】

基本目標

適正飲酒で肝臓を守りましょう

現状

- ・毎日飲酒をしている人の割合は、男性は変わらず、女性は増加した。
- ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は、男性女性ともに県平均(男性 18.7%、女性 13.3%)よりも低い。男性は目標を達成したが、女性は増加した。

今後の取り組み

- ・飲酒による健康への影響や、適正な飲酒量など、正しい情報の提供を行う。女性の飲酒量が増加していることから、女性に対して積極的に情報の周知を行う。
- ・地域や学校などで、適正飲酒に関する健康教育を行う。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
5-1	毎日飲酒している人の割合減少	40 歳以上男性	50.0%	50.0%	25.0%
		40 歳以上女性	6.0%	6.7%	減少傾向へ
5-2	5-1 のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減少 男性:純アルコール 40g まで 女性:純アルコール 20g まで	40 歳以上男性	12.3%	9.1%	8.0%
		40 歳以上女性	4.5%	5.2%	3.0%

【6 たばこ】

基本目標

喫煙者と受動喫煙を減らし、からだを守りましょう

現状

- ・妊娠中の喫煙者は、増加した。
- ・乳幼児のいる保護者の喫煙率は、父親母親ともに増加した。
- ・タバコを吸う人の割合は、概ね減少し、40～74歳男性は目標を達成した。75歳以上女性では、増加した。

今後の取り組み

- ・妊娠中の喫煙のリスクについて、母子健康手帳交付時に保健指導を行う。
- ・また、乳幼児のいる保護者へ、喫煙による子どもの喘息や乳幼児突然死症候群（SIDS）のリスクについて啓発を行う。
- ・地域や学校などで、受動喫煙が健康に及ぼす影響について啓発を行う。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
6-1	妊娠中の喫煙者をなくす	妊婦	H27 1.2%	2.8%	0%
6-2	乳幼児のいる保護者の喫煙率を減少	父親	52.1%	58.2%	30.0%
		母親	4.1%	8.2%	2.0%
6-3	たばこを吸う人の割合減少	40～74 歳男性	48.2%	23.4%	20.0%
		40～74 歳女性	2.6%	2.4%	2.0%
		75 歳以上男性	7.4%	7.3%	減少傾向へ
		75 歳以上女性	0.4%	0.7%	減少傾向へ

※6-3 75 歳以上男性については、策定時値の修正を行っている。

【7 休養・こころ】

基本目標

十分な休養をとり、こころとからだの健康を保ちましょう

現状

- ・睡眠不足により休養がとれていない人の割合は、増加した。
- ・5年間の平均自殺者数は、減少した。
- ・睡眠時間が少ない人の割合は、中学校2年生では減少したが、5歳児と小学校5年生では増加した。
- ・ゆったりした気持ちで子育てできている人の割合は、3～4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の全てで増加した。

今後の取り組み

- ・こころの悩みに関する相談窓口の周知を行う。
- ・妊娠期から子育て期まで、保護者が子育てに関して相談しやすい環境を充実させる。
- ・睡眠を含めた休養の大切さについて、周知を行う。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成 24 年度)	直近値 (平成 29 年度)	目標値
7-1	睡眠不足により休養がとれていない人の割合を減少	40 歳以上	24.3%	25.6%	20.0%
7-2	気分障害・不安障害に相当する自覚症状がある人の割合減少 ※身体的所見を除いた数値へ変更	40 歳以上	27.3%	29.8%	減少傾向へ
7-3	自殺者数減少	全町民	H20～24 の平均自殺者数 5 人	H25～29 の平均自殺者数 4 人	年間自殺者 3 人未満
7-4	睡眠時間が少ない人の割合減少 ※調査を実施している学年が小学校 5 年生と中学校 2 年生であるため、対象者を変更する	10 時間未満の 5 歳児	69.4%	72.8%	50.0%
		8 時間未満の小学校 5 年	25.0%	H30 33.0%	20.0%
		7 時間未満の中学校 2 年	42.1%	H30 39.5%	30.0%
7-5	ゆったりした気持ちで子育てができていない人の割合増加	3-4 か月児	H27 92.9%	94.5%	95.0%
		1 歳 6 か月児	H27 73.4%	80.2%	82.0%
		3 健 6 か月児	H27 63.8%	76.4%	78.0%

※7-2 については、策定時値の修正を行っている。

【8 歯科】

基本目標

歯の健康を保持することの大切さを知り、自己管理をしましょう

現状

- ・むし歯を持たない3歳児の割合は、増加した。しかし県平均(80.0%)や全国平均(85.6%)と比べると、低い数値となっている。
- ・12歳児の1人平均むし歯の数は、増加した。県平均(1.09本)や全国平均(0.82本)と比べても、多い状況である。
- ・妊婦歯科健診を受診した者の割合は、増加した。
- ・成人歯科健診を受診した者の割合は、やや増加した。

今後の取り組み

- ・妊娠期(胎児期)から乳歯の形成が始まることについて、母子健康手帳交付時に周知する。
- ・住民自らが歯の関心を持ち自己管理ができるよう、妊娠期(胎児期)から幼児期、学童期、成人期、高齢期まで通した歯科保健の啓発を行う。
- ・妊婦歯科健診や成人歯科健診など、歯科保健事業の周知を行う。

目標項目と直近値および目標値

	目標項目	対象者	策定時値 (平成24年度)	直近値 (平成29年度)	目標値
8-1	むし歯を持たない3歳児の割合増加	3歳児	65.0%	78.5%	80.0%
8-2	12歳児の1人平均むし歯の数減少	12歳児	1.36本	1.38本	1本未満
8-3	妊婦歯科健診を受診した者の割合増加	妊婦	21.1%	32.3%	35.0%
8-4	成人歯科健診を受診した者の割合増加	30歳から70歳まで5歳きざみの方	4.3%	5.0%	30.0%